

若浜の子ども



平成30年12月21日 第7号

学区の皆様のを、学校教育に

若浜小学校の子ども達の安全な生活、いのちの大切さ、生きることの楽しさを学ぶ学習に、地域の皆様のお力添えをいただいています。教室ではできない体験をさせていただきました。

交通指導員さん 安全サポーターさんに 感謝する会



交通指導員の土井司さん（東大町）が交通指導員永年勤続(30年)を受賞しました。児童から交通指導員さん、安全サポーターさん方お一人ずつに感謝の手紙をお渡ししました。



松山街道から二中に通じる道路の歩道を緑町の松浦さんが除雪してくださっていました。ありがとうございます。



若浜保育園 保育体験



若浜小の特色ある活動 全校バイキング給食



11月14日(水) 全校児童が体育館に一堂に会して食べる全校バイキング給食を行いました。本校では初めての取り組みでした。(児童数300人以上の規模の学校ではおそらく酒田市でも初めてか?)

バイキング給食のねらいは、メニューや量を考えて、食べるということです。今回はさらに、縦割り班で行うことによって、上級生が下級生をリードすることも期待して行いました。

量を自分で加減できるおかずは、最初の子がたくさんとってしまい、後の子はがまんするという可能性がありましたが、まったく問題ありませんでした。みんな後の子のことを考えてとってくれました。(いい子たちですね。)

残菜はほとんどなく、完食でした。

MENU

- ガーリックピラフ or キムチご飯
- 豚肉と大根の炒め物 or イカとウズラの卵のチリソース
- マカロニグラタン
- コンソメスープ or 豆腐スープ
- リンゴ or なし or 柿 or ブドウ

サケの赤ちゃん



<11月24日の様子>

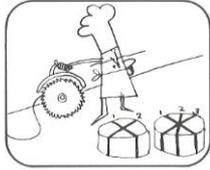
このころのおどけたような泳ぎ方やヨークサックはなくなり、今は大きなメダカのような感じです。

日向川鮭養捕場からいただいてきたサケの受精卵から11月14日(水)に稚魚がうまれました。それから約1ヶ月、今まで段ボール箱をかぶせて、暗くしていましたが、おなかの養分の袋(ヨークサック)もほぼなくなり、泳ぐ力もついてきたので、段ボール箱を昨日(12/20)に外しました。30匹ほどのサケの稚魚が水槽の中を、遊ぶかのごとくのびのび泳いでいる様子は見ていて飽きません。でも1匹だけヨークサックが大きいままの稚魚がいます。泳ぐ力もついてきているのに、一向に膨らみがしぼまないで、これからの成長が心配です。

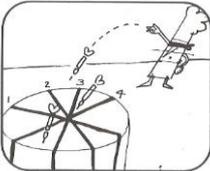
校長の宿題の答えから 2

10月の問題は、「ひらめいたアイデアをどう伝えるか？」がポイントでした。5・6年生に出題したところ、前回同様すばらしい解答が返ってきました。しかも予想外の名答も。

<問題>

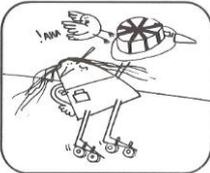


レストラン“ジョー”の料理は最高とは言えないが、おいしいチーズが有名なお店です。そこでは円筒形のチーズがいろいろ楽しめます。ナイフで1回切って2等分にするのは簡単です。



2回で4等分することもできますし、3回切れば6等分できるでしょう。

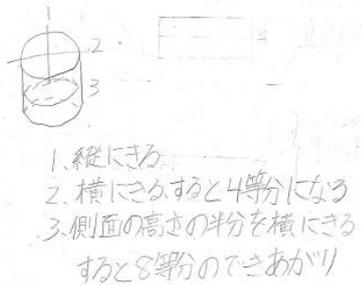
ある日、ウエイトレスのロージーが、ジョーにチーズを8等分してくださいとたのみました。ジョーが「OKロージー。簡単さ、ほら4回切ればいいのさ」と答えました。



ロージーはテーブルにそのチーズを運ぶ途中、たった3回切るだけで8等分できることに気がつきました。ロージーはどんな切り方を思いついたのでしょうか。

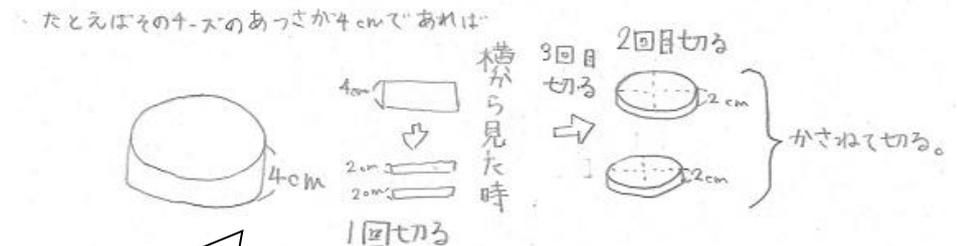
6年 渡會 ほまれさん

5年 齋藤 碧海 (あみ) さん



縦長にしているので水平方向に切ることがイメージしやすい。

高さを4cmだとしたら、と仮定して考えることがいいね。



6年 及川 竜我君

<自分の考え>

よこに1回でひつうに2回さる

5年 佐藤 信乃さん

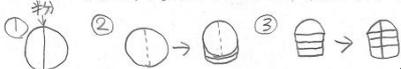
<自分の考え>

チーズは円筒形だから、○を二つに分ける。(二等分) ①

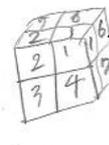
分けたものをもう一度くっつけて、(①)同時に横にうすく二等分 ②

二等分したものをかさねて(②)また半分に切る。(③)

こうしたら、たつ3回切るだけで8等分できる。



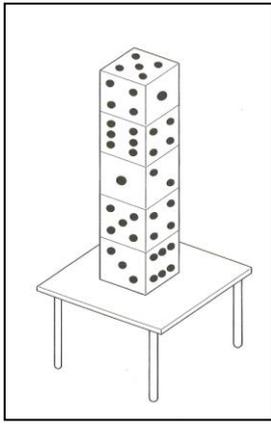
4等分したものを積み重ねて垂直方向に切るアイデア。



キューブに見立てた図をかいたのは竜我君だけでした。

水平方向1回、垂直2回切って8等分した子は、全体の65%、重ねて垂直方向3回で8等分した子は35%で、2つの解き方を書いた子は1人(6年齋藤佐樹君)でした。自分が解くことだけでなく、自分が考えなかった解き方や表現の仕方に対して「あーなるほど。」という感嘆の気持ちを持つことが、「考えること=楽しいこと」につながると思います。

12月の問題は下の問題でした。



左の図のようにさいころが5こ積み重ねておいてあります。積み上げてかかれてしまっているところの数の合計はいくらになるでしょうか。(この図では見えませんが、うらの部分はかかれていないところです。かかれているところは、つくえにのっかっているところとさいころどうしが重なっているところです。)

3年生以上(205人)に出題したところ85人が正解でした。(提出は自由なので正答率は求めています。)

一番多かった考え方は、1個のさいころの上面+下面=7であることを使った $7 \times 5 - 5 = 30$ でしたが、見えている数を手がかりに、見えていない面の数を考えた子も23人いました。(面倒がらないことが素晴らしい)

校長としてうれしかったのは、正解不正解よりも、図に数字をたくさん書き込んだり、一旦書いたものを全部消して書き直してまでやり遂げた粘り強い子がいたということです。また年齢的にハンディのある3年生が、ひらがなの多い説明を解答用紙の枠一杯に書いた子がたくさん(23人も)いたことは、喜びとともに驚きでした。

若っ子の活躍



第28回 MOA美術館山形県児童作品展(絵画の部)

酒田市教育長賞 1年 高橋性友 銀賞 4年 富樫湊

第3回 酒田市「税の標語」小学生の部 入選 5年 佐藤碧海

酒田地区青少年読書感想画コンクール

特選 1年 田村彩音 入選1年 伊藤徠芽 武田瑞季 栗橋花帆 3年 鈴木瑛士 鈴木菜月
川越晴 住石帆花 5年 佐藤惺菜 渡部凜 鈴木碧 堀はづき

酒田・遊佐地区新聞コンクール

集団の部 入選 2年「なかよし6」「かがやき新聞3ぱん」「にこにこ4はん」

「スマイル新聞」「電車で余目に行ったよ」「スマイル二組電車新聞」

個人の部 入選 6年 佐藤千尋 池田亜依香 小澤智佳 岡崎羽那 井澤美遥

佐藤莉子 齋藤雪羽

東邦書道会創立70周年記念展 東邦書道会賞 長谷部夏南

第33回 山形県小学生バレーボール新人交流大会(女子の部)

準優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団

第6回 富士見招待小学生バレーボール交流大会

優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団

第43回 酒田地区少年少女バレーボール交歓会(前田杯)

男子・混合の部 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団